



まもなく1学期の終業式を迎えます

令和4年度の新学期から、あっという間に半年が経ちました。10月は1年間の折り返しになります。今年度は、体育祭、修学旅行、冒険活動教室などの学校行事も無事に行うことができました。また、春・夏の大会での各部活動での大活躍もあり、生徒の皆さんの中にも様々な思い出ができたことと思います。2学期は更に進級・進学を視野に、目標を持ち、充実した学校生活を送ってほしいと思います。

さて、7日は1学期の終業式になります。1年生は中学校で初めての通知表をもらうこととなります。ドキドキ・ワクワクしながらその日を待っていることと思います。裏面に通知表の見方（「通知表のご活用にあたって」）を載せました。通知表をもらったら、ぜひご家族でご覧になり、1学期の振り返りをしつつ2学期の目標を立ててほしいと思います。



《2学期に向けて目標を持とう！》

通知表をもらって一番気になるのは「学習の記録」の教科ごとの「評定」だと思います。昨年度から評価の観点が『知識・技能』『思考・判断・表現』『主体的に学習に取り組む態度』の3つになっています。ここでは特に、「主体的に学習に取り組む態度」について、生徒の皆さんが2学期にさらにがんばるためのポイント（考え方）の一例をご紹介します。『主体的に学習に取り組む態度』は「粘り強い取組」と「自己調整（学習を調整しようとする力）」という二つの側面を評価しています。

★「粘り強い取組」とは・・・

- ・前の授業時間のノートを見返している。（「前の時間はどうやって考えたかな？」）
- ・わかりやすくするために式に言葉や図で説明を書き加える。（「これで説明したらもっと分かりやすくなるかな？」）
- ・一つの方法で解決した後、別の方法での解決を試みる。（「別の方法でもできないか、試してみよう！」）
など

★「学習を調整しようとする力」とは・・・

- ・うまくいかなかった解決方法を振り返り、それを修正したり別の方法を考えたりする。（「方法を変えたらできないかな・・・？」）
- ・自分の解いた方法を自己評価し、さらによいものを求めようとする。（「もうちょっと、ここを変えたらもっとわかりやすくなりそうだな。」）
- ・自分の解決した結果を友達に説明することを念頭に置いて、着想や説明を書き加えていく。（「これも書いておいたほうが説明しやすいかな。」）
など

まずは、自分にもできそうなものから始めてみましょう。他の項目でも、BやCの評価だったところは、もっとできることはないか、秋休みのうちに振り返ってみましょう。

《進路について考えよう！》

通知表を渡されたタイミングは、親子でじっくりと進路について話し合う絶好のチャンスです。2学期に向けて、具体的に何に取り組むのか、中学校卒業後の進路（具体的な志望高校名など）はどうするのか、将来何になりたいのか、など親子でよく話し合ってみてください。生徒の皆さんは、まずは自分でしっかりと考えること、保護者の皆様はそれを聞いた上でのアドバイスをぜひお願いします。

《秋は勉強がはかどる季節です！》

秋は、暑かった夏が過ぎ、過ごしやすい季節になります。「スポーツの秋」「読書の秋」などと言われるように何をするにも最適の季節です。また、文化祭が終わると大きな学校行事も少なくなり、じっくりと学習に集中できる時期でもあります。この時期にしっかりと具体的な目標を立て、2学期の学校生活をさらに充実させてほしいと思います。

